

22岡崎総第3-104号  
平成22年9月29日

関係機関の長 殿  
関係各位

大学共同利用機関法人自然科学研究機構  
生理学研究所長 岡田泰伸〔公署略〕

大学共同利用機関法人自然科学研究機構生理学研究所  
発達生理学系認知行動発達機構研究部門准教授の  
公募について（依頼）

大学共同利用機関法人自然科学研究機構生理学研究所では、このたび下記の要領で准教授を公募しますので、適任者の推薦、希望者への周知についてよろしくお願ひします。

#### 記

- 1 職種及び人数：准教授 1名  
所 属：発達生理学系 認知行動発達機構研究部門（伊佐 正教授）
- 2 研究分野：以下の研究を推進する研究者  
霊長類を用いた運動制御の中樞神経機構、脳・脊髄損傷後の機能回復機構、ブレイン・マシン・インターフェースの開発に関わる基礎研究
- 3 応募資格：博士の学位を有するか、それに相当する研究業績を有する者。
- 4 雇用期間：5年。ただし、任期更新可。（「大学共同利用機関法人自然科学研究機構生理学研究所研究教育職員の任期に関する規則」による。同規則等の内容は、ホームページ<http://www.nips.ac.jp/>を参照）
- 5 提出書類：
  - (1) 推薦書（別紙様式）
  - (2) 略歴書（別紙様式）
  - (3) 業績目録（別紙1により作成のこと。）
  - (4) 主要論文の別刷又はコピー 10編以内 各2部

(5) 現在までの研究概要と着任後の抱負（1,500字程度）

(6) その他参考資料（別紙2を参考にして作成のこと。）

※原則として提出書類は返却しません。

6 公募締切：平成22年11月30日（火）必着

7 赴任時期：遅くとも平成23年4月1日以前の赴任を希望します。

8 その他：生理学研究所は、男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画に取り組んでいます。

9 送付先及び問い合わせ先：

(1) 送付先

〒444-8585 愛知県岡崎市明大寺町字西郷中38番地

大学共同利用機関法人自然科学研究機構

岡崎統合事務センター総務部総務課人事係

（「認知行動発達機構研究部門」准教授公募書類在中」と朱書きして、簡易書留で送付すること。）

(2) 問い合わせ先：

大学共同利用機関法人自然科学研究機構

岡崎統合事務センター 総務部総務課 人事係

電話：0564-55-7113（給与等処遇に関することを含む）

大学共同利用機関法人自然科学研究機構

生理学研究所 教授 伊佐 正

電話：0564-55-7761, e-mail：tisa@nips.ac.jp

生理学研究所ホームページ：http://www.nips.ac.jp/contents/recruit/

認知行動発達機構研究部門ホームページ：http://www.nips.ac.jp/hbfp/

# 推 薦 書

下記のとおり、生理学研究所発達生理学研究系認知行動発達機構研究部門准教授の候補者を推薦します。

## 記

### 1 被推薦者氏名及び現職

氏 名

現 職

### 2 推薦理由（記入欄が足りない場合は、適宜、用紙を添付してください。）

平成 年 月 日

推薦者職・氏名

印

生理学研究所発達生理学研究系認知行動発達機構研究部門准教授 候補者略歴書

平成 年 月 日 現在

応募研究部門	認知行動発達機構研究部門	
応募の職	准教授	
ふりがな 氏名 (旧氏名)		
生年月日	年 月 日 ( 歳)	
学位	種類	( 年 月)
	授与機関	



修 学 期 間	学 歴 事 項
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
在 職 期 間	職 歴 事 項
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
従 事 期 間	職歴以外の研究又は教育歴事項
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	

従 事 期 間	その他学会活動等に関する事項
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	

現 在 の 所 属 先		
所 属 先 の 住 所		〒
所属の連絡先番号	電話番号	
	F A X	
	e - mail	

自 宅 の 現 住 所		〒
自宅の連絡先番号	電話番号	
	F A X	
	e - mail	

その他参考事項
---------

## 別紙 1

### [業績目録の様式]

- 1 A 4 版用紙を用い、A) 原著論文、B) 総説及び著書の順で記載してください。
- 2 個々の論文、著書については、①著者名（共著者を含め印刷物どおり）、②発表年、③題名、④誌名、⑤巻・頁、(⑥発行所：著書の場合) の順で、発表順に番号を付けて記載してください。

### [記入例]

#### A) 原著論文

1. Neher E & Sakmann B (1976)

Single-channel currents recorded from membrane of denervated frog muscle fibers.

Nature 260 : 779-802

#### B) 総説及び著書

1. 日本太郎 (1990)

聴覚の生理的基礎 勝木編 感覚の生理学

P. 51-70 岡崎書院

## 別紙 2

[その他参考資料の様式]

- A4版用紙を用い、①国際学会及び国際シンポジウムへの招待講演、②国際共同研究の実績、③競争的資金からの研究費の獲得状況(最近の5年)、④その他の順で記載してください。

[記入例]

### ①国際学会及び国際シンポジウムへの招待講演

1. 生理太郎 (2000, 3)

Cortical dynamics and neural mechanisms of object recognition

The 26th SEIRIKEN International Symposium, "Neural Mechanisms of Visual Perception and Cognition", Okazaki, Japan (invited speaker)

### ②国際共同研究の実績

1. Human Frontier Science Grant, Research Grant RG-77/95

研究テーマ: Visual pattern recognition by primate neuronal networks

共同研究者: 生理太郎, Darwin C, Yang J

(代表者がある場合は下線を引いて下さい)

研究期間: 1995, 6 - 1998, 5

### ③競争的資金からの研究費の獲得状況(最近の5年間)

1. 戦略的基礎研究推進事業(科学技術振興事業団)

研究テーマ: 体性感覚における視床-大脳皮質機能連関 (研究代表者)

期間: 1996, 4 - 2000, 3

研究費総額: 230,000,000円

### ④その他

1. 1996年 日本生理学会奨励賞